

焼津市新庁舎建設基本構想策定業務委託に関する

公募型プロポーザル 審査結果

【審査経緯】

専門知識を有する学識経験者 2 名、行政職員 6 名で構成される「焼津市新庁舎建設基本構想策定業務委託に関する公募型プロポーザル審査委員会」で、厳正かつ公正に審査を行った。委員の構成は以下のとおり。

委員長	池田 浩敬（富士常葉大学社会環境学部教授）
委員	横田 恭子（静岡県くらし・環境部建築住宅局主査）
	山田 寧（焼津市副市長）
	池田 義之（焼津市総務部長）
	増田 永二（焼津市市民生活部長）
	新川 元康（焼津市産業振興部長）
	天野 康弘（焼津市都市整備部長）
	村松 幸昌（焼津市環境水道部長）

第一次審査は、参加表明があった 3 社について審査を行った結果、「業務実績」、「配置技術者の能力等」についていずれも優れており、3 社を第二次審査対象者に選定した。

評価項目		A社	B社	C社
一 次 審 査	1 会社の業務実績	26	30	26
	(1) 庁舎に関する実績内容			
	ア 受託業務の規模や内容を総合的に判断	130	130	112
	2 本業務における配置技術者の能力等			
	(1) 管理技術者			
	ア 庁舎に関する実績内容及び携わった立場を総合的に判断			
	(2) 主たる担当技術者	156	160	138
	ア 庁舎に関する実績内容及び携わった立場を総合的に判断			
イ 手持ち業務の内容及び件数からその専任制について判断	一次審査合計			

第二次審査は、3社から事前に提出を受けた企画提案書に基づくプレゼンテーション及びヒアリングを匿名で実施し、その得点に第一次審査での得点を加算して最も高い得点を得た者を最優秀者（優先交渉権者）と特定した。

評価項目			A社	B社	C社	
二次 審 査	1 企 画 提 案 書	特定 テーマ1	実施方針	28	23	19
			取組体制	23	25	22
			業務に関する具体的な流れと内容	21	23	25
		特定 テーマ2	防災を考慮した建設地に対する考え方	44	48	42
			産業を考慮した建設地に対する考え方	28	15	23
			交流を考慮した建設地に対する考え方	22	16	25
			上記を考慮したまちづくりの拠点としての建設地に対する考え方	48	40	40
		特定 テーマ3	地球周辺環境への配慮	22	26	22
			だれにもやさしい（ユニバーサルデザイン等） 庁舎建設の考え方	21	24	24
			ライフサイクルコストの低減	40	50	42
		特定 テーマ4	市民の合意形成を得る手法	26	23	26
			市民要求の事業への反映方法の考え方	23	24	26
		2 業務参考 見積	業務コストの妥当性	23	23	19
		二次審査合計			369	360
総合計			525	520	493	

A社：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社を最優秀者に特定した。

【審査講評】

今回のプロポーザルにおいて、3社の提案書は、それぞれの特徴を活かしたものであり、審査委員の得点も拮抗したものであった。B社、C社は全体的に総論的な企画提案書という評価であったのに対し、A社の企画提案書は、最も焼津市に特化した提案で焼津市の状況を非常に研究されたものであり、力のこもった企画提案書であるという審査委員から高評価を得た。次点となったB社は、一次審査においては、業務実績や取組体制での評価は高かったが、二次審査の評価項目において、特定テーマ2の「産業」、「交流」を考慮したまちづくりに関する評価が伸びなかった。C社は、総論的な企画提案書という評価の一方で、プレゼンテーション・ヒアリングを受けて評価が伸びたという意見も出たが、全体的に具体性ではA社が優勢であったとの総合評価であり、以上の得点結果によりA社が選定されることとなった。